まなびぃもがみ

発 行 ： 最上町教育委員会 生涯学習室
ＴＥＬ：43-2350
発行日：令和5年10月26日（隔月発行）

《最上町生涯学習スローガン》　町民ひとり　１学習　１スポーツ　１地域活動

最上町総合芸術文化祭開催

～地域に活力、心に潤いを！ふるさとを繋ぐ芸術の灯～
開催期間：R5.10.27（金）～11.11（土）
11/5（日）：合同舞台発表
会　場：中央公民館大ホール（入場券が必要）
時　間：12：00～15：30（終了予定）

10/18（水）～10/24（火）　一般公募展
10/21（土）　芸文祭　俳句のつどい
10/27（金）～10/29（日）　生け花展
10/27（金）～10/30（月）　合同展示発表
10/28（土）・11/5（日）　茶道発表会
10/28（土）　特別発表「とんと昔こ」昔語りの会
11/4（土）第2回囲炉裏を囲んで大いに語ろう！
～拓本実践あり～
11/11（土）　文化講演会

各申込・お問合せ・プログラム取扱い
最上町教育委員会　教育文化課　生涯学習室
0233-43-2350
主催：最上町芸術文化団体協議会
共催：最上町・最上町教育委員会

ワイルドエドベンチャースクール

10月21日（土）にワイルドエドベンチャースクールが開催されました。今回の活動内容のメインは「芋煮会」です。あいにくの天気でしたが、みんなで芋煮を作りました。自分たちで育てた里芋の皮むきでは、最初は苦戦しながらも一生懸命やっていました。

完成した芋煮を皆美味しそうに食べていました。3回もお代わりする児童もいました。

つるつる
すべるよ～
慎重に…

あつあつで
おいし～

いきいき大学　R5グラウンドゴルフ大会

９月13日（水）に、西公園多目的グラウンドを会場に　「いきいき大学」グラウンドゴルフ大会が行われました。

当日は、絶好のお天気に恵まれ少人数ではありましたが、晴天の下楽しくプレイすることが出来ました。

来年度は、もっと多くの方々に参加していただきたいと思っております。向町地区（旧東中学校区）の皆さん待ってまーす。

ひまわり大楽　in 米沢　10/17

令和5年度
県内視察研修に行って来ました!!

10月17日(火)に、「ひまわり大楽」では県内視察研修で米沢に行って来ました。

今年度は、6月の県外研修があり2回目の視察研修になります。やっと通常通り年２回の視察研修となりました。

今回は、米沢上杉博物館を見学。染織工房わくわく館では、染織体験をしてきました。

お昼は、道の駅米沢でおいしい昼食を頂きました。

来年度は、どこに行きましょうか？

上杉博物館にて

染織工房わくわく館にて
染織体験（紅花染）

どんな柄にしようかな？

出来上がりが楽しみ～♪

最上町長杯
グラウンドゴルフ大会開

10月18日（水）最上西公園多目的グラウンドを会場に、最上町長杯町民グラウンドゴルフ大会が開催されました。町内の有志一同が熱戦を繰り広げました。

結果
1位　齊藤　好雄さん
2位　菅　キツ子さん
3位　細矢　文敏さん
4位　牧　　察雄さん
5位　中嶌　義春さん
6位　福井　　守さん

皆さん
おめでとうございます。

ハロウィンパーティー開催されました。

10月22日（日）中央公民館大ホールを会場に高校生ボランティア「つくし会」による、ハロウィンパーティーが開催されました。未就学児から小学生まで多くの子供たちが参加してくれました。予約がいっぱいになりお断りしてしまった方には本当にごめんなさい。

今年度は、ゲームブースも2つ設けてみました。

☆新しい本が続々入荷中です☆

中央公民館図書室新刊情報

≪第59回谷崎潤一郎賞受賞作品≫
＊「水車小屋のネネ」津村記久子 著（毎日新聞出版）
≪第11回ポプラ社小説新人賞受賞作品≫
＊「つぎはぐ、さんかく」菰野江名 著（ポプラ社）
≪第18回中央公論文芸賞受賞作品≫
＊「チャンバラ」佐藤賢一 著（講談社）**山形県出身**

＊「球形の囁き」長岡弘樹 著（双葉社）**山形県出身**
＊「アリアドネの声」井上真偽 著（幻冬舎）
＊「マリエ」千早茜 著（文藝春秋）
＊「わたしたちに翼はいらない」寺地はるな 著（新潮社）
＊「リラの花咲くけものみち」藤岡陽子 著（光文社）
＊「霜月記」砂原浩太朗 著（講談社）
＊「百年の子」古内一絵 著（小学館）
＊「十戒」夕木春央 著（講談社）
＊「夫妻集」小野寺史宣 著（講談社）
＊「素敵な圧迫」呉勝浩 著（KADOKAWA）
＊「世界でいちばん透きとおった物語」杉井光 著（新潮社）
＊「あなたが誰かを殺した」東野圭吾 著（講談社）
＊「プロジェクト・ヘイル・メアリー　上・下」
アンディー・ウィアー 著（早川書房）
＊「笠原将弘の副菜の極み158」
笠原将弘 著（扶桑社）
＊「虚無レシピ」リュウジ 著（サンクチュアリ出版）

『 私たちの世代は 』 瀬尾まいこ 著（文藝春秋）

明日が怖いものではなく楽しみになったのは
あの日からだよーー。

小学3年生になる頃、今までにない感染症の流行で不自由を余儀なくされた二人の少女、冴(さえ)と心晴(こはる)。母子家庭の冴は中学生になりイジメに遭い、心晴は感染症が落ち着いた休校明けに学校に行くきっかけを失って以来引きこもりになってしまう。それでも周囲の人々の力添えもあり、やがて就職の季節を迎える―。

今でもふと思う。あの数年は何だったのだろうかと。不自由で息苦しかった毎日。家で過ごすことが最善だとされていたあの期間。多くの人から当たり前にあるはずのものを奪っていったであろう時代。

それでも、あの日々が連れてきてくれたもの、与えてくれたものが確かにあった。

望まずしてマスク世代などのレッテルを貼られてしまった若者たちの生き方を描き、いまを生きる私たちの道標となる物語。